

令和4年度 JOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニア 関東地区予選 神奈川県 予選会 要項

1. 開催日

令和4年5月22日（日） 午前10時10分開会
（受付・計量：9時00分から9時45分まで） ※男子・女子ともに仮計量は行わない。

2. 会場：神奈川県立武道館 柔道場（住所：横浜市港北区岸根町725 電話：045-491-4321）

3. 主催：神奈川県柔道連盟

4. 参加選手

(1) 男子は県学柔連から4名と県高体連から4名の指定選手、計8名によるトーナメント試合とし、階級は次のとおりとする。

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|----------------------------|
| ① 60kg級 (60kg以下) | ② 66kg級 (60kgを超えて66kg以下) | ③ 73kg級 (66kgを超えて73kg以下) |
| ④ 81kg級 (73kgを超えて81kg以下) | ⑤ 90kg級 (81kgを超えて90kg以下) | ⑥ 100kg級 (90kgを超えて100kg以下) |
| ⑦ 100kg超級 (100kgを超える) | | |

(2) 女子はオープン参加によるトーナメント試合とし、階級は次のとおりとする。

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 48kg級 (48kg以下) | ② 52kg級 (48kgを超えて52kg以下) | ③ 57kg級 (52kgを超えて57kg以下) |
| ④ 63kg級 (57kgを超えて63kg以下) | ⑤ 70kg級 (63kgを超えて70kg以下) | ⑥ 78kg級 (70kgを超えて78kg以下) |
| ⑦ 78kg超級 (78kgを超える) | | |

(3) 参加選手は日本国籍を有する者とする。

(4) 選手は、令和4年中に満15歳～20歳になる者とする。

(5) 選手は、神奈川県に住居、在勤、在学の条件のうち、いずれかを満たし（財）全日本柔道連盟競技者登録をしている者とする。

(6) 柔道衣にはゼッケン（所属名と苗字入り）をつけること。

(7) 前年度全日本ジュニア入賞者（2・3位）は県予選を免除とする。

5. 試合方法

(1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定で行う。

(2) 男子・女子ともに各階級トーナメント方式とし、それぞれの階級で3位決定戦を行う。

(3) 試合時間は男子・女子ともにすべて4分間とする。

6. 表彰：各階級の優勝・準優勝・第3位（ベスト4）の選手に賞状を授与する。

7. 申し込み：

(1) 所定の申込用紙に必要事項を記入し作成する。

(2) 参加料は1人あたり¥2,000とする。

振込先

銀行名・支店 横浜銀行 横浜駅前支店（店番号383）
口座番号 普通 6525376
口座名 神奈川県高体連柔道専門部 会計 栃本章太

※振込手数料は各団体でご負担下さい。振込依頼人には団体名を（個人名は不可）入力してください。

(3) 申込先

〒251-0871 藤沢市善行7-1-3 藤沢翔陵高等学校内
神奈川県高体連柔道専門部 事務局 北原祥二郎 宛
電話 0466-81-3456～7
FAX 0466-81-8845

(4) 申込期限は令和4年5月9日（日）から5月16日（日）までとする。なお、申し込みは女子のみが行い、期限内に参加料の振り込みの完了と申込書が必着すること。男子は各団体でとりまとめて申し込みを行う。

申し込みファイル（エクセルファイル）に必要事項を入力し、下記の電子メールアドレス（メール）へ送信してください。
shojiro.kitahara+r4juniorken@gmail.com
事務局でメールを受信しましたら、各校へ確認のため、受信した申込書をメールにより返信します。その内容を確認し、間違いのないことを確認できましたら、受付を完了とします。

8. その他

- (1) 脳しんとうの対応について、選手及び指導者は下記の事項を遵守すること。
 - ①大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は専門医（脳神経外科）の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳しんとうを受傷した者は継続して当該大会に出場することができない。なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
 - ③当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。
- (2) 皮膚真菌症（トングランス症候群）については、各所属団体の責任において必ず確認し、感染が判明した選手については、迅速に医療機関に於いて的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、本大会への出場ができない場合もある。
- (3) 男子・女子ともに各階級上位3名を本県代表として関東地区予選に推薦する。ただし、推薦人数は県予選免除者も含める。

なお、関東地区予選会は令和4年7月3日（日）に埼玉県立武道館にて開催される。

— 令和4年度 全日本ジュニア体重別選手権大会県予選 — — 神奈川県高体連男子出場選手選考基準 —

1. 全日本ジュニア選手権大会神奈川県予選の試合方法について

- (1) 男子の階級は下記のとおり組み合わせる。

高校1位 VS 大学4位 / 高校2位 VS 大学3位
高校3位 VS 大学2位 / 高校4位 VS 大学1位

2. 組み合わせについては5月15日（日）の高体連常任委員会（総体県予選終了後）で選考決定する。

柔道衣(コントロール面・規格面)の説明

1 コントロール面

- 袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われてなければならない。（図1参照）
- 胸骨の一番上から襟の重なり合う部分まで垂直で10cm未満でなくてならない。（図2の矢印の部分）
- 上衣の併せ目で下襟の長さが、水平でなくとも20cmなくてはならない。（図3の矢印の部分）

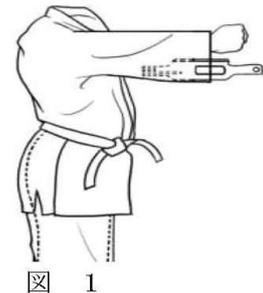


図 1

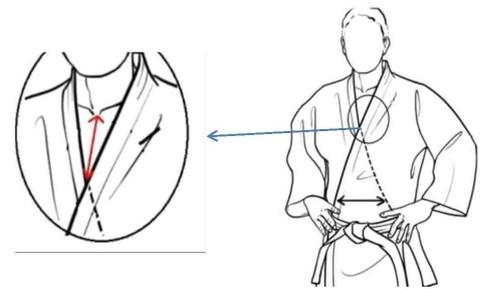


図2 拡大

図3

2 規格面

- 上衣の1㎡あたりの重量は650g～750gであること。
- 襟幅は最大4cmとする。また襟は、4筋縫いであること。
- 襟は簡単に垂直方向に折り曲げることができる。